

NETIS登録番号  
No.KK-990050-V

# 設計比較対象技術

国土交通省「**新技術活用促進システム**」に登録!

均一で確実な打継目処理を約束する!!

# Disparlight®

ディスパライト

ディスパライトは均一性に優れた高品質の打継面が、安全確実に得られるコンクリートの打継目処理剤です。

## 3大特徴

### 1.均一性

均一でムラのない高品質の打継面が得られます。  
●鉄筋周囲を含めて安定した処理効果が得られ、高圧水処理による表面洗い出しによりムラのない打継目が得られます。



※水が使用できない場合の処理方法  
ジェットタガネ又はワイヤーブラシ等を用いて打継目処理を行って下さい。

### 2.確実性

作業時期の時間制約が大幅に緩和され、効率的で確実な打継目処理作業が行えます。

### 3.安全性

コンクリートや鉄筋への悪影響がありません。  
●有害物質を含まないため、環境汚染の心配もありません。

## ニーズに合わせた4タイプ

- 水平打継目処理用 **ディスパライト CR** (散布形 標準タイプ) [NETIS登録品]
- 水平打継目処理用 **ディスパライト ER** (散布形 超遅延タイプ) [NETIS登録品]
- 鉛直打継目処理用 **ディスパライト DV** (型枠用 塗布タイプ) [NETIS登録品]
- 鉛直打継目処理用 **ディスパライト DV-S** (型枠用 速乾塗布タイプ) [NETIS登録品]

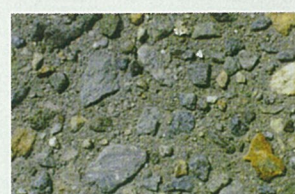
## 効果



▲打設時



▲打継目処理



▲処理後

散布形 標準タイプ

# Disparlight CR



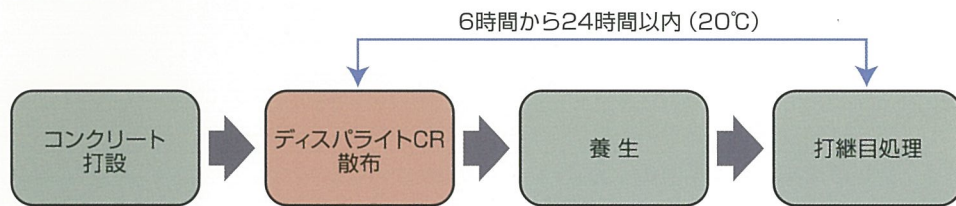
▲瀬戸大橋

▲関越自動車道水上トンネル



▲倉敷 (美観地区)  
洗い出し美粧

## ■使用手順



ディスパライトCRは、一般コンクリートの水平打継目処理剤です。

コンクリート打設後ブリーディング水が引くころを目安 (1時間程度) に原液を300g/m<sup>2</sup> (ジョウロ散布の場合は2倍希釈液を600g/m<sup>2</sup>) 散布する事により、散布後6~24時間 (20℃) 以内の圧力水処理等により打継目処理が効果的・能率的に行えます。

## ■用途

●ダム、ケーソン、橋梁下部工、PCタンク、LNGタンク基礎、砂防堰堤、下水処理場、浄水場、地下鉄、発電所、共同構、骨材露出工法など。遊歩道、参道などの洗い出し美粧など。

## ■性能

比重	外見	pH	粘度(25℃)
1.06	淡褐色液体	8.0±1.0	1.0mpa·s
処理深さ	使用法	散布面	標準使用量※
2~3mm	ジョウロ又は噴霧器による散布	コンクリート面	300g/m <sup>2</sup>

※使用量の算出例

例えば、セメント量400kg/m<sup>2</sup>では……  
400×0.001=0.4kg→400g/m<sup>2</sup>

上記の様に使用量をご使用ください。

※また、特に夏場の直射日光が当たるような場所では、表面乾燥の関係からディスパライトERのご使用をおすすめします。(ただし、表面保護シートなどを使用する場合は、この限りではありません。)

■荷姿/18kg/缶, 198kg/ドラム (受注生産品)

## ■施工例 (CR・ER)



▲ジョウロによる散布

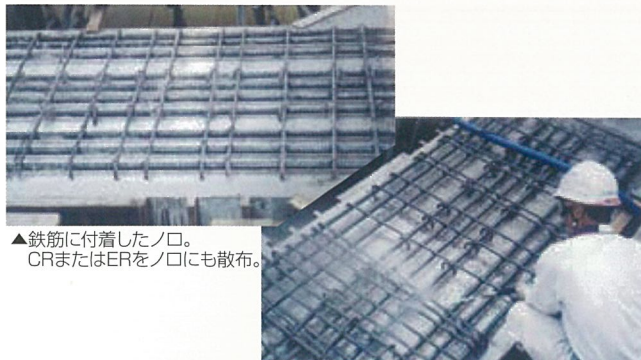
▲噴霧器による散布



▲圧力水処理

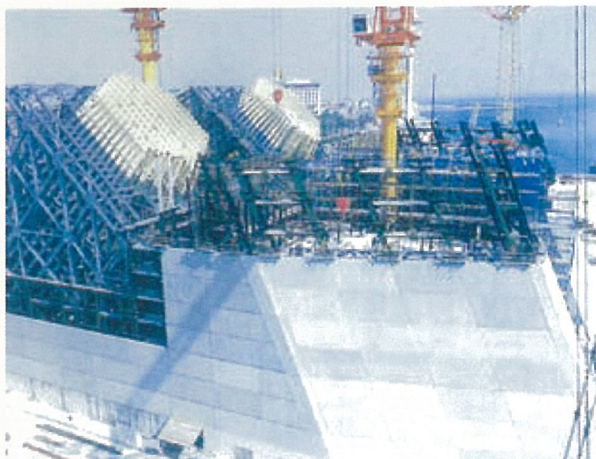
散布形 超遅延タイプ

# Disparlight. ER



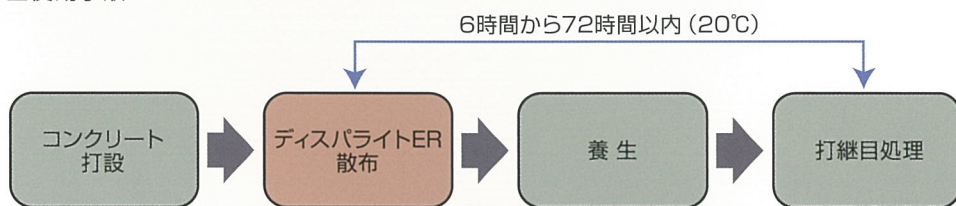
▲鉄筋に付着したノロ。  
CRまたはERをノロにも散布。

▲翌日、高圧水洗浄でノロの除去が可能です。



▲明石大橋

■使用手順



ディスパライトER (散布型) は、CRの姉妹品として、改良された打継目処理剤です。

CRに比べ散布してから打継目の洗い出し処理までの時間が長くとれるとともに、洗い出し後の処理深さも深くなります。また、洗い出しまでの間、必要に応じ湛水養生が可能です。(ジョウロ散布の場合は2倍希釈液を600g/m<sup>2</sup>散布して下さい。)

■性能

比重	外見	pH	粘度(25℃)
1.17	淡黄褐色液体	6.0±1.0	5.0mPa·s
処理深さ	使用法	散布面	標準使用量※
2~5mm	ジョウロ又は噴霧器による散布	コンクリート面	300g/m <sup>2</sup>

■荷姿 / 18kg/缶

■用途

- 重力式コンクリートダムやマスコン
- 長期遅延効果が必要なコンクリート構造物
- 散水・湛水養生が必要なコンクリート構造物

■散布型 (CR・ER) 使用上の注意

- ディスパライトの打継目洗い出し処理作業には、高圧水処理 (3MPa程度) 又はジェットタガネ等を用いて凝結が遅延している打継目薄層部を除去して下さい。
- コンクリート表面が斜めになるような型枠で、垂直に建て込まない場合は、型枠とコンクリートの界面にディスパライトが流れ込むおそれがありますので、型枠とコンクリートの接する面に、ウェス等で養生してから散布して下さい。
- ディスパライトは散布ムラのないように入念に散布して下さい。(散布量の不足や、ムラは打継目処理ムラを生じさせます。)
- ディスパライトは-5℃まで安定ですが、凍結しないよう保存して下さい。
- コンクリート打設後、3時間を超えてディスパライトを散布した場合、打継目の処理作業性は低下し、処理深さも浅くなる場合があります。

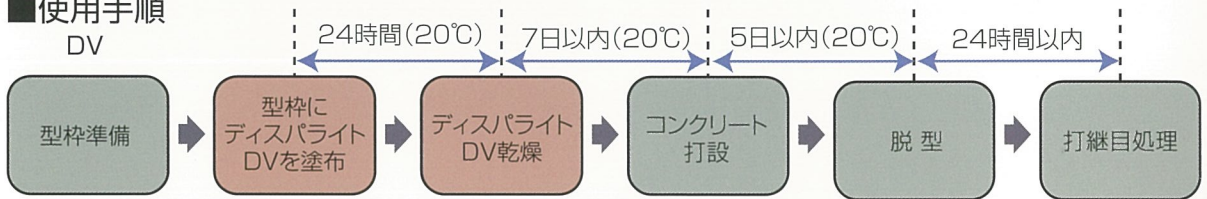
※使用方法及び性能等の詳細につきましては、別途「技術資料」をご参照願います。

## 型枠用 塗布タイプ

# Disparlight DV



### ■使用手順 DV



ディスパライトDVは、コンクリートの鉛直打継用に開発した打継目処理剤です。  
あらかじめ型枠に塗布、乾燥させ、コンクリートの打設養生後、脱型し打継目処理を行えば容易に均質な処理面が得られます。

### ■用途

●PC桁、高架橋、地下鉄、ダム、発電所、LNGタンク等コンクリート構造物。  
建築外装、PC化粧板等の表面洗い出しなど。

### ■性能

比重	外見	pH	粘度(25°C)
1.17	淡黄色 グリース状	8.0±1.0	13,000± 2,000mPa·s
処理深さ	使用法	塗布面	標準使用量
2~3mm	ハケ又は ローラーで塗布	型枠面	350g/m <sup>2</sup>

■荷姿 / 18kg / 缶

### ■塗布用(DV)使用上の注意

- 塗布量は気温、セメント量、型枠材質等により多少増減することがあります。
- 打継目作業時期は温度に影響されますのでコンクリート打設後、打継目の洗い出し時間には充分注意して下さい。
- 脱型後、打継目の洗い出しは24時間以内に行ってください。
- 降雨等で型枠等に、塗布されたディスパライトが流出しないようシート等で覆うなど予防処置を行ってください。
- DVを塗布したあと塗膜は乾燥しますが、フレッシュコンクリートに接すると再び湿潤して効果を発揮します。
- 型枠に剥離剤が塗布されていると十分な効果が得られないので、必ずシンナーなどで拭き取ってください。
- ディスパライトDVは350g/m<sup>2</sup>を2回塗り以上で塗布して下さい。
- コンクリート打設の際に鉛直でない型枠(斜め等)ですと十分な処理面が得られない事がありますので、事前に試験を行い、効果を確認の上でご使用願います。

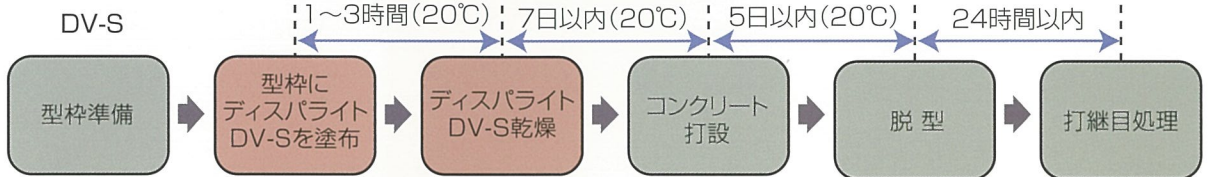
型枠用 速乾塗布タイプ

DV-Sは特注品につき納期は10日間程度必要になります。

# Disparlight. DV-S



## ■使用手順



ディスパライトDV-Sは、コンクリートの鉛直打継用に開発した打継目処理剤です。あらかじめ型枠に塗布、乾燥させ、コンクリートの打設養生後、脱型し打継目処理を行えば容易に均質な処理面が得られます。

・特にディスパライトDV-Sは乾燥時間が短縮され、塗布量も少量で処理可能になります。

## ■用途

●PC桁、高架橋、地下鉄、ダム、発電所、LNGタンク等コンクリート構造物。  
建築外装、PC化粧板等の表面洗い出しなど。

## ■性能

比重	外見	pH	粘度(25℃)
1.13	白濁粘調液体	7.0±1.0	13,000±4,000mPa·s
処理深さ	使用法	塗布面	標準使用量
2~5mm	ハケ又はローラーで塗布	型枠面	200g/m <sup>2</sup>

■荷姿 / 18kg / 缶

## ■塗布用(DV-S)使用上の注意

- 塗布量は気温、セメント量、型枠材質等により多少増減することがあります。
- 打継目作業時期は温度に影響されますのでコンクリート打設後、打継目の洗い出し時間には充分注意してください。
- 脱型後、打継目の洗い出しは24時間以内に行ってください。
- コンクリート打設の際に鉛直でない型枠(斜め等)ですと十分な処理面が得られない事がありますので、事前に試験を行い、効果を確認の上でご使用願います。
- 降雨等で型枠等に、塗布されたディスパライトが流出しないようシート等で覆うなど予防処置を行ってください。
- 型枠に剥離剤が塗布されていると十分な効果が得られないので、必ずシンナーなどで拭き取ってください。
- ディスパライトDV-Sは規定量を1回で塗布して下さい。(塗りすぎに注意して下さい。)